年間授業計画 様式例

井草　高等学校 令和８年度（３学年用）　教科　家庭　科目 服飾手芸

教　科：　家庭　　科　目：　服飾手芸　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　選択者

使用教科書：（ 家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）　）

教科　家庭　の目標：

【知識及び技能】　人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　家庭や地域及び社会における生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】　様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目　服飾手芸　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創造的な手芸品の製作を目指して、手芸の種類と特徴及び各種手芸の技法などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する基本的な知識と技術を身に付けるようにする。	手芸の美的価値及び製作工程に関する課題を発見し、手芸品の製作と服飾への活用に向けて創造的に解決する力を養う。	手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協同的に取り組む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	手芸品の種類と基本的技法を知る。 小物製作を通して、手芸品の構成と製作方法を理解する。	・手芸品の種類と技法について ・手芸品の材料と用具 ・小物製作（ティッシュケース）	【知識・技能】 ワークシート記述、作品、レポート等 【思考・判断・表現】 作品、ワークシート記述、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み、振り返り、課題提出状況発表等	○	○	○	4
	クロスステッチを中心とした刺繍の種類と方法について理解するとともに技術を身に付ける。 作品製作を通して、布やミシンの取り扱い、基本的な縫製について理解する。	・クロスステッチ刺繍の方法と材料について ・その他の刺繍について ・小物製作（ポーチの製作）	【知識・技能】 ワークシート記述、作品、レポート等 【思考・判断・表現】 作品、ワークシート記述、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み、振り返り、課題提出状況発表等	○	○	○	11
	パッチワークについて理解するとともに関連した技術を身に付ける。 作品製作を通して、布やミシンの取り扱い、基本的な縫製について理解する。	・パッチワークの種類と方法について ・小物製作（巾着の製作）	【知識・技能】 ワークシート記述、作品、レポート等 【思考・判断・表現】 作品、ワークシート記述、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み、振り返り、課題提出状況発表等	○	○	○	10
	小テスト 夏休みの課題について考える			○	○	○	2
2学期	手芸品の服飾への活用を考え、刺繍やパッチワーク等を応用する。 作品製作を通して、布やミシンの取り扱い、基本的な縫製について理解する。	・服飾作品の製作と刺繍等の装飾	【知識・技能】 ワークシート記述、作品、レポート等 【思考・判断・表現】 作品、ワークシート記述、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み、振り返り、課題提出状況発表等	○	○	○	13
	編み物の種類と方法について理解し、基本的な技術を身に付ける。	・編み物の種類と技法・材料について ・鍵針編みと棒針編みの基礎編み ・マフラー等の製作	【知識・技能】 ワークシート記述、作品、レポート等 【思考・判断・表現】 作品、ワークシート記述、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み、振り返り、課題提出状況発表等	○	○	○	13
	まとめ			○	○	○	1
3学期	手芸品製作や服飾への活用に関する課題を見いだし、解決する方法を考える。	課題解決学習 自由作品製作	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				16
							合計 70